

# ビートルズが壊したもの

## —映画『ア・ハード・デイズ・ナイト』回想

ピーター・バラカン

(ブロードキャスター)

日本では『ビートルズがやって来るヤァ!ヤァ!ヤァ!』の  
タイトルで親しまれてきた伝説的映画は、  
57年の時を超えて、いまだに観る者の心を躍らせる。  
この作品とビートルズをリアルタイムで目撃した  
イギリス人が語る4人の魅力、そして英国社会の断面とは?

とにかく、とんでもなく面白い映画でした。当時、音楽映画は、軽くて中身の薄いものが多かったのですが、ポン・ポンと打ち返すようなテンポのいいセリフ、自然な演技、斬新なショット、全体の巧みな編集と、この作品には非の打ち所がないと思います。当時は人気のミュージシャンを主人公に据えた映画がいろいろありましたが、そういうもののなかでは断トツで最高の作品でした。

監督のディック(リチャード)・レスターがモノクロにしたのも効果的だったと思います。ドキュメンタリー的な効果が出ているように感じられます。このころすでに、映画はカラーが主体になっていましたが、『土曜の夜と日曜の朝』(一九六〇)、『長距離ランナーの孤独』(一九六二)など、リアリズムを狙った作品はモノクロで撮られることがよくあったと記憶しています。どうやら予算の関係もあったようですが、この選択で正解だったと思います。

### イギリス中がビートルマニアだった

映画では、冒頭のビートルズが追いかけられるシーンや、最後のほうで四人の演奏に悲鳴を上げる若いファンが印象的ですが、「ビートルマ

ニアは本当にこんなにすごかったのか?」と聞かれることがあります。「すごい熱狂だったと伝え聞けれど、実際はどのくらいだったのか、本当にあんなだったのか?」といぶかしがる人もいます。

しかし、それに対して僕には「あの当時、イギリス中、男も女も若者はみんなビートルマニアだった」としか言えません。レコードを買ってコンサートで狂乱する女性だけではなく、男性のファッションもそれまでとは変わりました。髪の毛の切り方も変わったし、洋服もビートルズの丸首のスーツを真似する者がいたり、音楽誌の広告に載っていた安物のちよつとヒールの高くなったブーツを買ったり、というように、とにかく真似をしたいという若者であふれかえっていたのです。

先日、ダイアー・ストレイツのマネジャー、エド・ビッケネルのインタヴューをポッドキャストで聞きましたが、「二五〇〇人の中学生の女の子たちが、映画館の座席で失禁をしたときのおいって想像できるか?」と言ったとき、長年の疑問が解けました。女の子たちが興奮しきつて、座席の上でおしっこをしてしまっていたのです。ビートルズなどのコンサートが終わった後、下着が脱ぎ捨てられている、という話をよ

『ア・ハード・デイズ・ナイト』(一九六四)は、公開されてからまもなく、地元北ロンドンのマズウェル・ヒルにあった映画館に観に行きました。一三歳になる少し前ぐらいでした。一回観て、すぐにもう一回観に行つたのを覚えています。

『ア・ハード・デイズ・ナイト』(一九六四)は、公開されてからまもなく、地元北ロンドンのマズウェル・ヒルにあった映画館に観に行きました。一三歳になる少し前ぐらいでした。一回観て、すぐにもう一回観に行つたのを覚えています。

して、アメリカも征服した六四年がピークだったと思います。この映画はその六四年の七月に公開されたわけですから、ただでさえみんな観に行くはずなのに、内容も面白い。大ヒットするわけです。



映画『ア・ハード・デイズ・ナイト』から、疾走するポール、ジョン、ジョージ、リンゴ、そして警官。同作品は、殺人的なスケジュールの中、7週間弱で撮影されたと伝えられる。  
©Photofest/Aflo

### リヴァプール訛りのセリフ、そして歌

ビートルズの魅力は、ラジオやテレビに出演するとき、自分たちの個性を全面的に出して自然にふるまったことです。映画では多くのシーンで、ビートルズの実際の発言がそのまま引用され、彼らが実際に言うであろうセリフがたくさん出てきますが、これは当時の自然体のビートルズをリアルに再現しているものです。しかし、ショウ・ビジネスの世界で、地方出身者があるがままにふるまうというのは、実はそう簡単なことではありませんでした。

日本語字幕では表現されないと思いますが、ビートルズの英語には深いリヴァプール訛りがあります。ロンドンで生まれ育った僕にとって、当時彼らの話す非常に訛りの強い「英語」を聞いたときは、やはり驚きでした。「ア」の音が「ウ」になったり、短い「イ」や「ウ」の音が「イー」「ウー」になっていたりと、母音の発音が全く違うのです。それに、ビートルズは四人ともそれぞれ独特のアクセントを持っていて、聞けばすぐに、ジョンかポールかジョージかリンゴかわかります。

そのころテレビに出演する俳優やパーソナリ